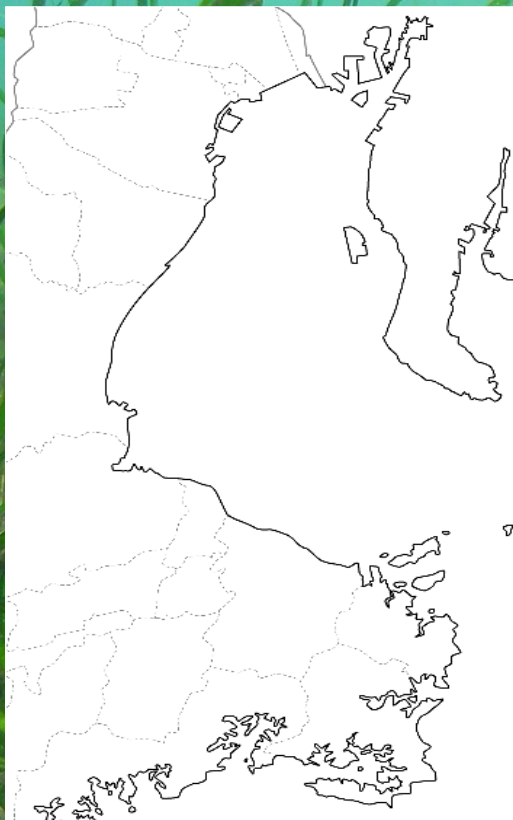


伊勢湾の漁業振興に向けた取組について



三重県農林水産部 水産基盤整備課 奥村宏征

【 今日お話しする内容 】

三重県による「伊勢湾の漁業振興」の主な取組のうち、以下の4点について話します。

- ・干潟・浅場の保全・再生の取組
- ・漁業者等による干潟・浅場、藻場の保全活動への支援
- ・漁協等による共同利用施設の整備への支援
- ・「海業」の推進
うみぎょう



以下の取組も重要です。

- ・三重県きれいで豊かな海協議会の設置

三重県の3部（環境生活部，県土整備部，農林水産部）が連携

きれいで豊かな海の実現に向けた、各種施策の進行管理、効果検証等を行う

- ・下水処理場における栄養塩類管理運転

令和4年10月に見直された新たな規制基準の下、3部が連携

県が管理する流域下水処理場において栄養塩類管理運転を実施

【 干潟・浅場の現状 】

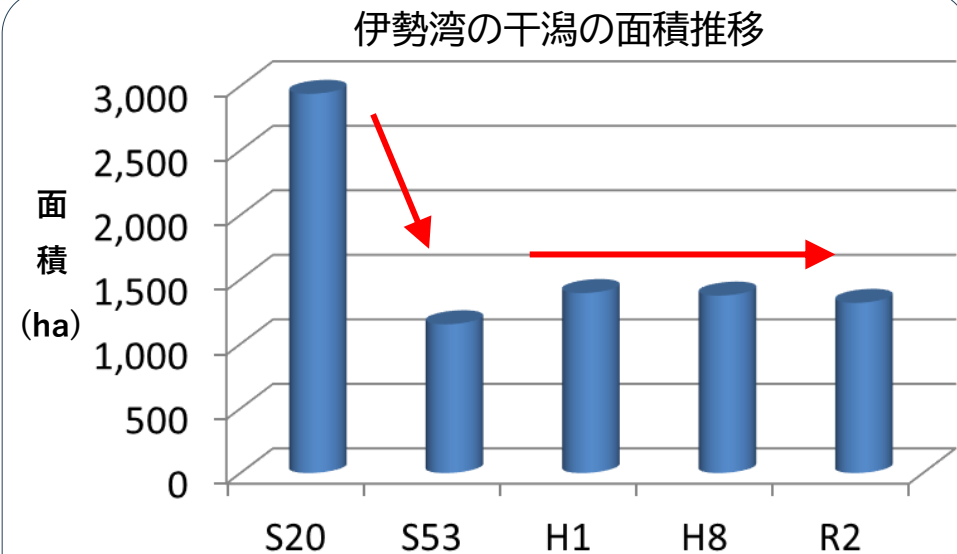
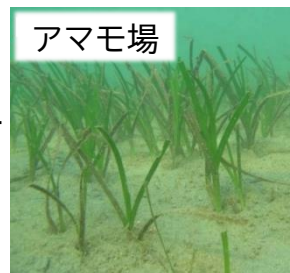
干潟・浅場

アサリ、ハマグリ、魚類等、重要な水産資源の生息場所、産卵場、幼稚子の成育場となっています



アマモ場

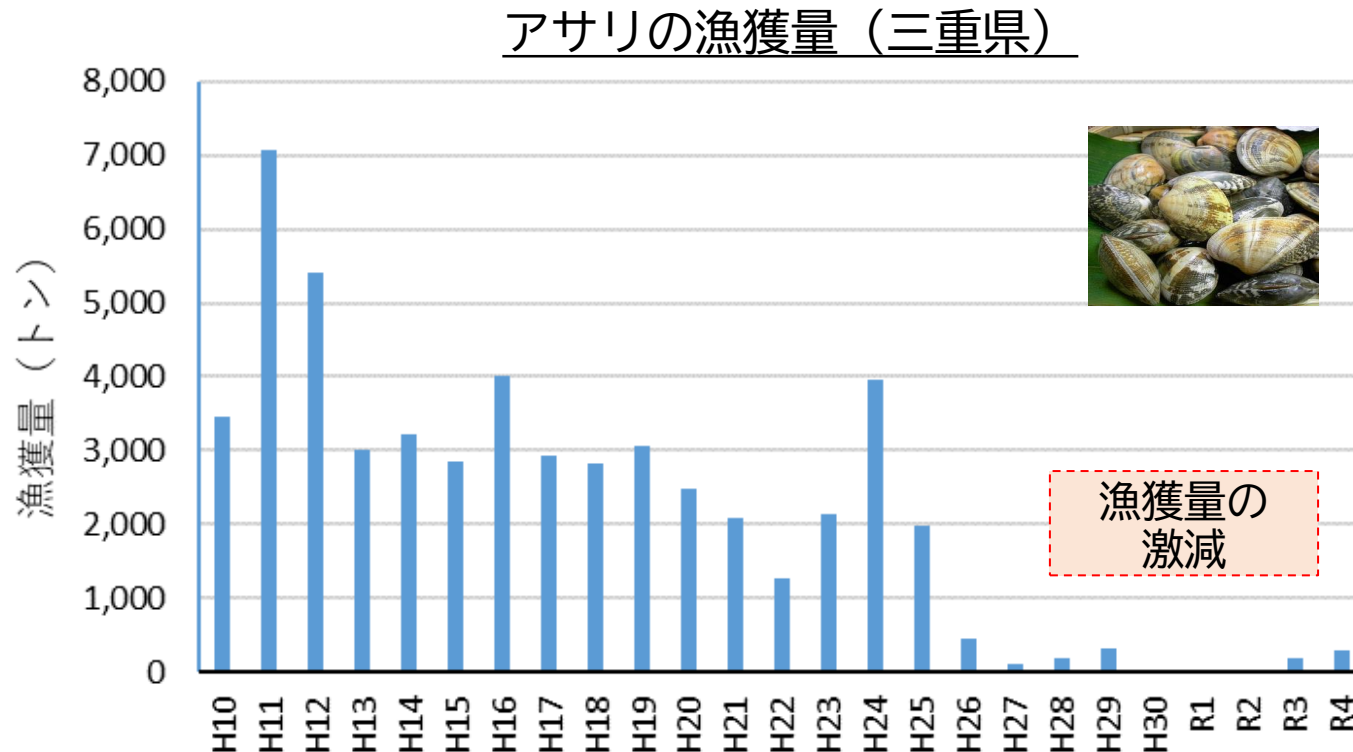
近年、伊勢湾内で増加しています
H21年 413ha → R4年 1,062ha



干潟・浅場

S20年 2,939ha → R2年 1,319ha
(高度経済成長期 **約2分の1に減少**)
(その後 大きな増減なし)

【 アサリの漁獲状況、主な減少要因 】



アサリ 主な減少要因と対策

- ・ 生息場 干潟・浅場の減少 → 干潟・浅場の造成
- ・ 強波浪 流失・へい死 → 砕石の活用
- ・ 集中豪雨等 河口域淡水化 → 稚貝移植（漁業者）
- ・ 貧酸素水塊 発生面積拡大 → 伊勢湾の水質改善（3部連携）

【 干潟・浅場の造成 】

○ 干潟・浅場の造成

- 県では、「伊勢・三河湾海域干潟ビジョン」に基づいて、干潟・浅場の造成を実施しています
- 貧酸素の影響が少ない場所を選び、アサリの母貝場や育成場をつくっています



（実績）

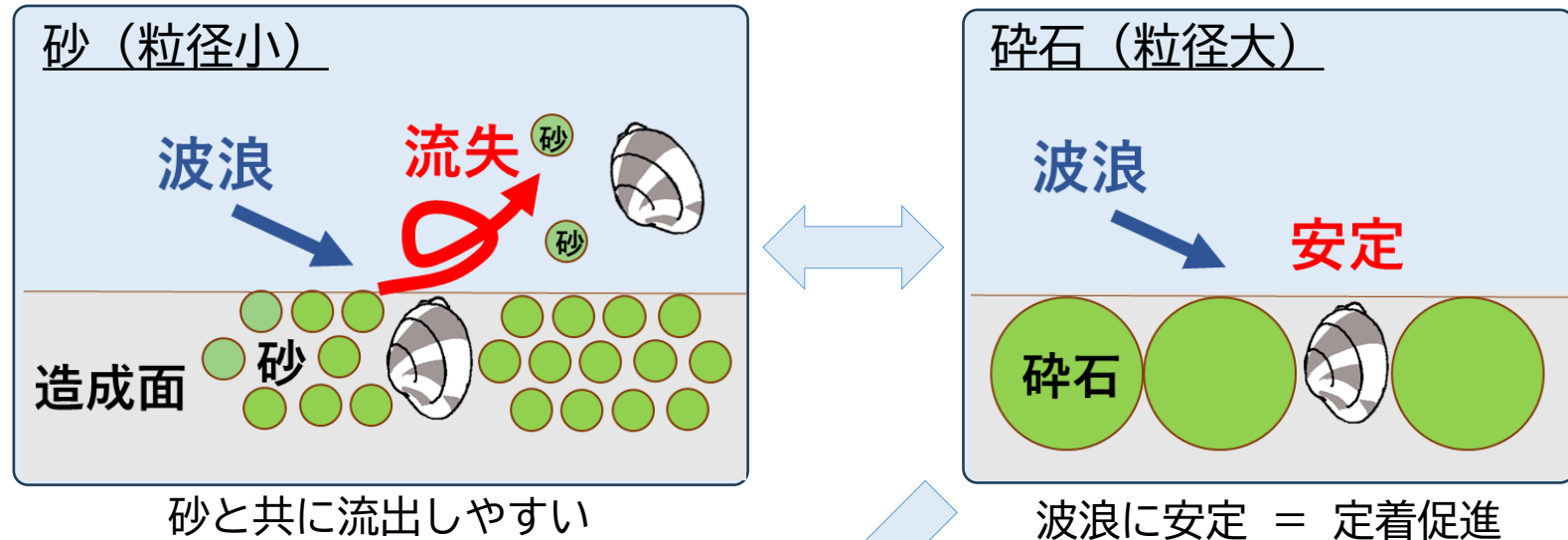
計画	年度	工区	実施面積	
第1期	H16 - H23	松阪市	干潟・浅場	17.90 ha
第2期	H24 - R3	四日市市	干潟	3.13 ha
第3期 (途中)	R4 - R6	松阪市	浅場	1.30 ha
合計			干潟・浅場	22.33 ha

- ・ 第3期（R4-R13年度）の造成計画

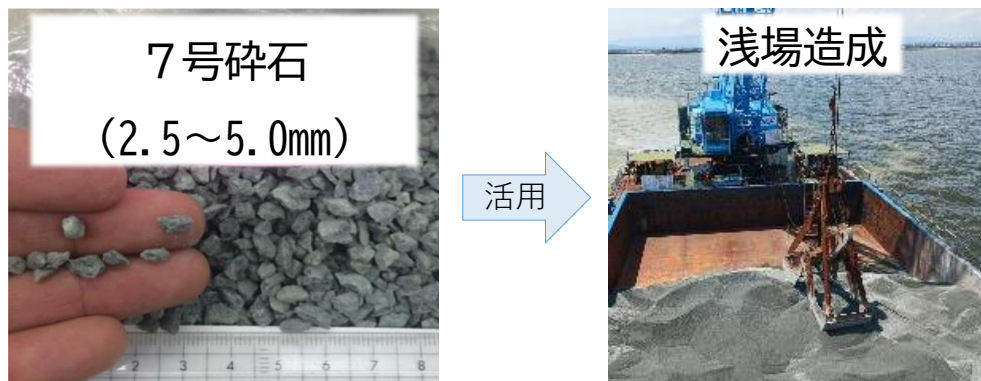
四日市市・津市・松阪市において干潟・浅場造成（計画15ha）

【 浅場造成における砕石の活用など 】

○ 強波浪によるアサリの流出・へい死



○ 砂より粒径の大きな砕石の活用



【砕石の活用以外では】

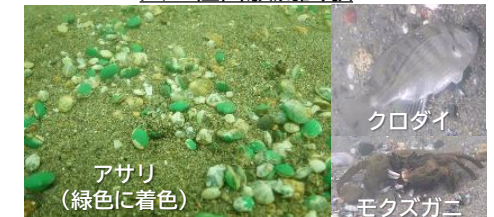
人工干潟（四日市市）の機能向上試験

アサリの天然採苗、人工種苗放流試験を実施

天然採苗試験



人工種苗放流試験



【 干潟・浅場、藻場の保全活動支援 】

○ 水産多面的機能発揮対策（国の補助事業）

漁業者を中心とした地域の活動組織による、干潟・浅場、藻場、内水面の保全活動を支援しています

（補助率：国（70％）県（15％）市・町（15％））

○ 干潟・浅場の保全

- ・ 耕うん、生物移殖、浮遊・堆積物の除去（漂着ゴミや流木の除去）、モニタリングなど



耕うん



生物移殖



浮遊・堆積物の除去

○ 藻場の保全

- ・ 母藻の設置、海藻の種苗投入、アマモの播種移殖、食害生物（ウニ類・魚類）の駆除、モニタリングなど



母藻の設置

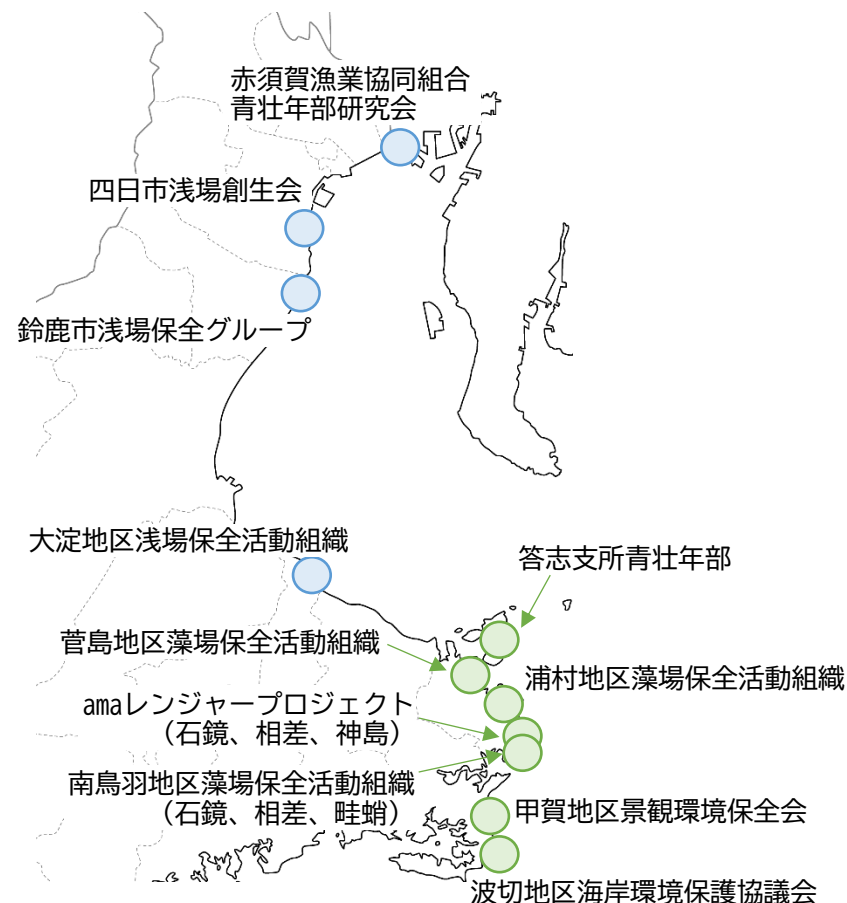


ウニ類の駆除



魚類の駆除

伊勢湾における令和7年度の保全活動組織



伊勢湾で令和7年度に保全活動を行う組織数

干潟・浅場 4組織（4市町）

藻場 7組織（2市 ）

【伊勢湾の漁業振興に向けた流通促進対策】

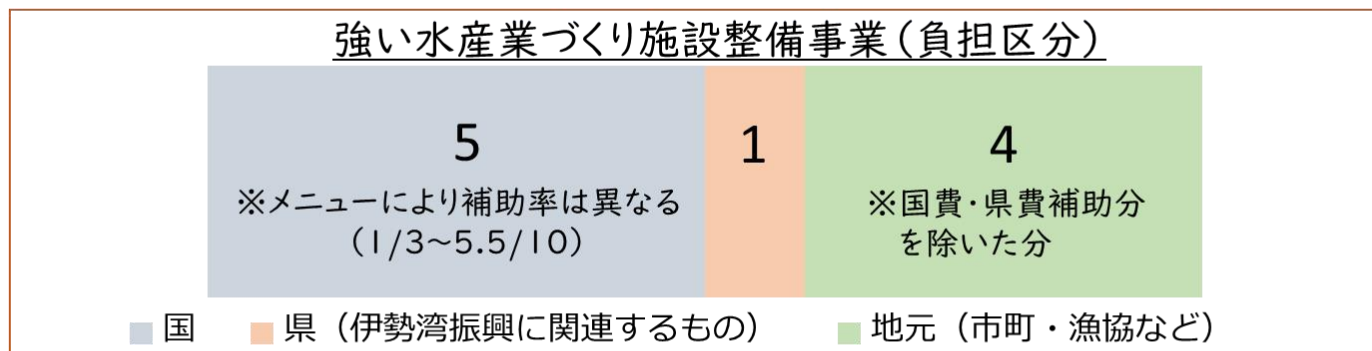
県では、伊勢湾の漁業振興に向けて、共同利用施設の整備を支援しています。

伊勢湾漁業振興策 流通促進対策

【対策期間：R4年度からR11年度まで】

○ 活用事業と負担区分

- ・強い水産業づくり施設整備事業（国；浜の活力再生・成長促進交付金または水産業競争力強化緊急施設整備事業）を活用
- ・伊勢湾漁業振興策に関連する取組に限り事業費の1/10まで県費による補助



○ 事業メニューと想定される施設

○ 魚類の鮮度向上に向けた取組

- ・製氷施設・貯氷施設
- ・冷凍施設・冷蔵施設
- ・加工処理施設



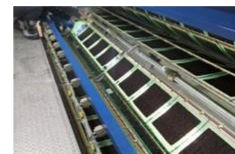
（鮮度保持施設）



（加工処理施設）

○ 黒ノリ共同加工施設の整備

- ・大型ノリ自動乾燥機の導入
- ・大型ノリ自動乾燥機の設置に必要な上屋の整備



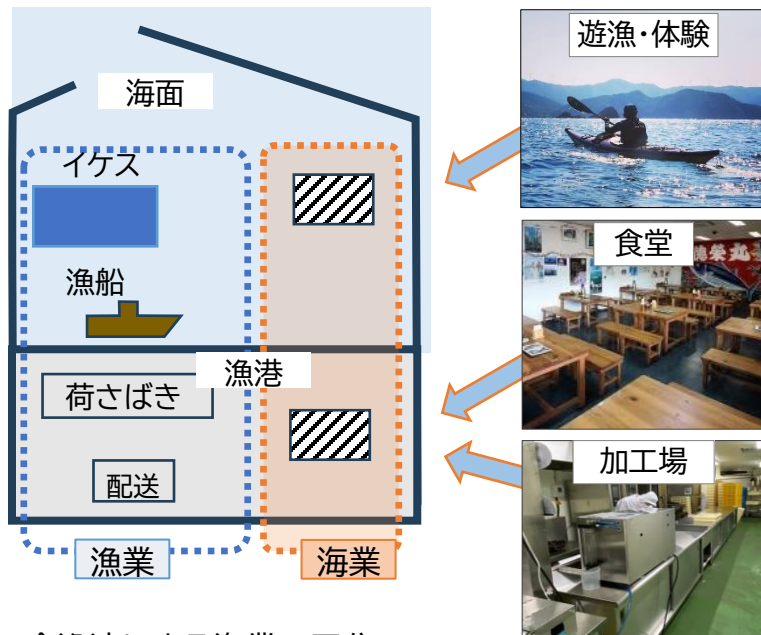
（大型ノリ自動乾燥機）

【 海業の推進 】

うみぎょう 〈海業とは〉

- ・ 海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの（水産庁HPより）

海業の展開イメージ



全漁連による海業の区分

- ・ 飲食・加工販売
- ・ 観光、レジャー、渚泊
- ・ 体験、教育
- ・ 養殖
- ・ 再生可能エネルギー波及効果

【伊勢湾における海業の取組】

明和町下御糸、鳥羽市小浜

- ・ 国の「海業の推進に取り組む地区」に選出 → 海業の事業計画(案)（水産庁HPに掲載）
- ・ R7年度、国の海業取組促進事業を活用し、海業に関する検討を開始
県では、国事業の窓口となり、海業に関する検討に参加するなど、取組を支援しています。

【海業に取り組む場合の考え方 → 留意点】

- 地域の理解と協力のもと → 漁業者が納得した上で
- 漁業上の利用を確保した上で → 漁業に影響のない範囲で
- 漁港施設・水域・公共空地を有効活用し → 空いた施設等を活用して
- 水産物の消費増進や交流促進を図っていく → 水産物販売、集客交流を図る

県では、上記の2地区や他地区を含め、所得の向上や雇用機会の確保につながる海業を推進し、伊勢湾における漁村の活力向上を目指します。

【最後に】

三重県による「伊勢湾の漁業振興」の主な取組のうち、以下の4点について話しました。

- ・干潟・浅場の保全・再生
- ・漁業者等による干潟・浅場、藻場の保全活動の支援
- ・漁協等による共同利用施設の整備支援
- ・「海業」の推進
うみぎょう

また、「三重県きれいで豊かな海協議会」を設置し、3部（環境生活部，県土整備部，農林水産部）が連携して、きれいで豊かな海の実現に向けた、各種施策の進行管理、効果検証等を行っています。その中では、下水処理場における栄養塩類管理運転にも取り組んでいるところです。



今年は三重県で全国豊かな海づくり大会が開催され、「豊かな海」に関する県民の意識醸成が図られます。

海づくり大会で盛り上がった豊かな海に関する
気運を背景に、今後も、これらの取組を進める
ことで「伊勢湾の漁業振興」を図っていきます。